

# 聖路加国際病院 感染症内科



## 専門研修プログラム

2009年4月20日版

### 感染症内科プログラム

#### ・GIO

1. 患者からも医師および他の医療従事者からも信頼される良き内科医となり、良き感染症臨床医になることをめざす。
2. 全ての科のあらゆる領域の感染症について広く知識を習得する。

#### ・SBO

1. 患者と良きコミュニケーションを持つことができる。
2. 感染症が軽快するまで責任を持って主治医のチームの診療に協力することができる。
3. 感染症科の指導医および各科の主治医のチームと常に良きコミュニケーションを保つ。
4. 各種感染症の患者の適切なマネジメントと適切な抗菌薬治療について各科の医師に指導を行えるようになる
5. 科内で定期的に行われるカンファレンスを中心となって企画し、司会・進行を行うことができる。
6. 臨床研究の実践と報告(学会発表・論文の執筆、投稿)ができる。
7. 血液培養陽性例などを適切に把握することができる。
8. カルバペネム処方例は全例把握して、適正使用が行われているかチェックすることができる。

#### ・LS1 OJT

OJTでは、主治医として常に、15人前後を担当し、1年間で550人前後の入院患者の診療に関与する。このほかに、各科からコンサルテーションを受けて常に50人前後フォローする。

- 毎日病棟の患者の回診を行いながら、指導医から指導を受ける。
- 各科外来、当日外来や救急部外来で、受診した患者について相談を受ける機会もある。
- 外来で診療する各種感染症患者について相談し、指導を受ける。

- 細菌検査室にローテーションして1-2ヶ月間細菌学的検査診断法について学び、体得する。
- 血液培養陽性例を把握し、患者の診療について主治医に必要な指導を行う。
- カルバペネム処方例を全例把握して、適正使用が行われているかチェックして必要な指導を行う。

## ・LS2 勉強会

### <勉強会>

- 勉強会は、専門研修医(シニアレジデント)が企画・実行する。
- 毎月2回の感染症カンファランスで、テーマを決めて研修医(ジュニアレジデント)向けに教育指導を行う
- 抄読会(月2回)で新しい文献を読み発表する。
- 細菌検査室との合同のプレートカンファランス(月2回)

### <院内感染管理実習>

- 院内感染管理ナースが行っているサーベイランスや統計や感染管理について感染管理ナースのもとで学ぶ

## ・LS3 学術活動

### <論文執筆>

- 米国感染症学会、日本感染症学会、化学療法学会、エイズ学会などに参加して、演題発表を行う。テーマをきめて臨床研究を行い、研究論文、症例報告の論文、各種依頼原稿などを執筆する。

## ・EV

- 病棟の患者を毎日指導医とともに回診し、ディスカッションしながら、指導医の評価を受ける。
- 学会発表、臨床研究、抄読会、感染症カンファランスでの指導などを通して評価を受ける。